

日本発トスカーナ便り：ビーチでの過ごし方

泳ぐのは得意ですが、夏が来れば海へ！という習慣はない私にとって、ドイツ人達が海辺での休暇（2～4週間くらい。ドイツ語ではStrandurlaub：シュトランド・ウアラウプ）について熱く語り始めるたびに「そんな長い期間、海辺で何するんやろ？」とずっと謎に思っていました。彼らがどれだけ日光浴の時期を心待ちにしているかは知っていますし、海辺での休暇の間、日光浴して本読んで過ごす。とか聞いてはいますが、イマイチ実感できず、かといって、日本の企業に勤める身では1か月の休暇なんて望めません。そんなこんなで、長らくの間、ビーチでの過ごし方には興味津々だったのです。ですが、とうとう機会が巡ってきましたよ！イタリアでビーチ体験してきました！

まず、日本だったら、「海水浴」に行くって言いますよね？

イタリアでは、圧倒的に「日光浴」が最大の目的で、「海で泳ぐこと」は二の次の位置づけです。

日本のビーチ（というカリゾート）事情には明るくないので、イタリアと日本がどう違うのかは比較できませんが、私が、「ほほー」と思った点をいくつか。



1. ビーチは有料

イタリアのビーチはほぼ有料です。無料のビーチはない事はないですが、本当に限られた一角だけ。あとは「海の家」みたいなのが立ち並び、料金を払って一区画を借りるという仕組みでした。

料金はシーズンや曜日、あとは受けるサービスによって異なりますが、一日10～15ユーロという感じでしょうか？こんな感じで、砂浜にはずらーっとビーチチェアとパラソルが並んでいます。（ビーチサッカーやビーチバレー場も完備！）管理しているお店によってパラソルの色が異なりますが、何処も似たような感じです。

2. 絶対ビキニ

男の子も青年もおじさんもおじいさんもビキニは着ないので、さすがに老若男女とは言いませんが、女性は年齢・体型を問わず、「ビキニ」が標準でした。（ええ。私も前日ビキニを買いに行きましたよ！お見せできるような代物ではないので、写真は省略）海に行ったことあまりない、と言うだけで「えええ？」という感じだったのに、「ビキニ着たことない」と言った日にはもうショックのあまり言葉も出ないというか「かわいそうに」って思われてる？というのが一般的イタリア人の反応でした。

3. ひたすら日光浴

日焼け止めなり日焼けクリームを塗ったら、あとはひたすら太陽に向かって日光浴。もうどこを見渡しても人が転がっている感じです。肌を焼くのが目的だから、女性はビキニなんですね。☺
家族連れだったら、大人はひたすら日光浴して、子供は穴掘ったり、海に飛び込んだりしている感じです。肌を焼くことに熱心で、特製オイルを塗りまくって大やけど（死亡するケースも）する人が毎年必ずいるそうです。日焼けに命かけてます。



4. 禁止事項

日本のビーチでは最近飲酒禁止のところも増えてきていると聞きますが、イタリアのビーチでは、たき火とか夜間の海水浴とか、ボール遊びとか物の販売とかマッサージが禁止のようです。

でも、「規則です」と言われて、その通りにするのはイタリア式じゃないですね。

☺



5. 物売りとマッサージ

禁止されていたって、ひっきりなしに物を売りに来ます。どれだけの人がいるのかわかりませんが、サングラスに帽子、おもちゃにスカーフ、アクセサリに水着の上に羽織るもの、はては「ココナッツ」まで、5分に一回くらいの頻度であらゆるものを売りに来ます。売っているのはほぼ100%黒人さんでした。でもサングラスなんかは明らかなブランド物のコピー商品なので、安くても買ってはなりません。(ココナッツ以外、食べ物飲み物は売りに来ませんでした。) 他には「マッサージします」と回ってくるのですが、直射日光の下で、オイル使ってマッサージしたら??そんな危険な行為を??まあでもこれ、イタリアのビーチでは当たり前の風景のようです。

で、私はちょっとドキドキしつつも日焼け止めをくまなく、しっかり塗って、サングラスしてビーチチェアに横たわってみたのですが、なんとこれが意外に心地よい。☺

太陽の熱、素足に感じる砂と海からの風を浴びて、思っていた以上の解放感でリラックスできました。寝そべるのに飽きたら、カメラ片手に、周りの人々の行動を観察したり、素足で砂浜を歩いてみたり、海に足を入れてみたり。青い空に浮かぶ雲、遠くを通る船、遠くに見える山、まるで生き物みたいに形を変えながら寄せては引く波を眺めているのもなんだか楽しいです。



海中にバレーボールのネットがありました。これはどのように使うんでしょうね？



海岸沿い見渡す限りずっとビーチが広がっています。

これ、6月の、とある平日で、まだ学校も休暇に入る前なんですが、すでにこの賑わい。

夏休みはすごい人でしょうね？ Viareggio（ヴィアレッジョ）の海ですが海と山と空に囲まれて、さすがトスカーナ州有数のリゾート地です。



砂遊びに忙しい子供たち。☺



お昼は Fritto misto di mare（フリット・ミスト・ディ・マーレ：海の幸のフリット）を。シンプルに揚げたてにレモンをかけていただきます。付け合せはもちろんフライドポテト。



日光浴の後分かったことですが、とっても疲れるんです。と言っても苦しい疲れじゃなくて、緊張が解けてリラックスしてぐたぐたになった状態と言うか…。温泉に入った後と似たような感じでしょうか？ただ太陽の下で寝そべっていただけなのに！そんなこんなで、初「ビーチでの日光浴体験」のその日は、いつ寝たか覚えていないくらいよく寝ました。ちょっぴり色黒になって日本に帰国しましたよ。

やっぱりこんな生活が2週間も続くというのはなかなか想像しにくいですが、思っていたよりずっと楽しいものでした。もうビキニにも慣れたし、機会があれば、是非また行ってみたいもんです。☺